

授業科目 家政学 I

【担当教員名】 村山篤子、澤井セイ子		対象学年 2	対象学科 社会（介護）
		開講時期 前期	必修・選択 介護福祉コース必修選択
		単位数 2	時間数 30
<p>【&lt;概要&gt;又は&lt;一般目標：G I O&gt;】</p> <p>家庭生活に必要な知識や、食生活のあり方について学び、家庭生活への考察や、栄養調理について食材の選び方や、調理法の工夫の仕方について理解する。</p> <p>1、家庭生活の維持を理解し、経営管理する能力を養う。 2、食生活の意義を理解し、管理する能力を養う。</p>			
<p>【&lt;学習目標&gt;又は&lt;行動目標：S B O&gt;】</p> <p>1、家庭生活の意義を理解し、家庭経営や管理についての能力が身につく。（1） 2、家事労働や生活時間についての知識や理解力が身につく。（1） 3、家庭経済や消費生活についての判断ができる。（1） 4、食生活の意義を理解し管理する能力を養う。（2） 5、食品の成分や調理についての理解力が身につく。（2） 6、食品衛生に関する知識が身につく。（2）</p>			
回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	生活と食事		
2	食事形態		
3	身体の機能と栄養（生体リズムと栄養、栄養素、消化吸収）		
4	老人、障害者と栄養（加齢・障害と食生活のあり方、栄養所要量）		
5	食生活と健康（栄養障害、生活習慣病、ストレスと食事）		
6	食品の成分と保存・管理、食品の安全		
7	調理（献立、食材の選び方、食材の調理性、調理操作の概要）		
8	老人、障害者の食生活と調理法、食器		
9	調理器具、設備、エネルギー源		
10	食品衛生に関する法規		
11	家庭生活の意義		集中
12	家庭生活と家庭経営（家族周期と生活設計等）		集中
13	家庭生活と家庭管理（生活時間、家事及び家事労働、家庭の情報処理）		集中
14	家庭経済（生活費のあり方、財産及び消費生活に関する法規等）		集中
15	試験		
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>
教科書 (必ず購入する書籍)	建帛社	介護福祉士選書9	新版家政学概論Ⅰ—家政・生活編
	建帛社	介護福祉士選書10	新版家政学概論Ⅱ—栄養・調理編
	建帛社	介護福祉士選書11	新版家政学実習
参考書			
その他の資料			
【評価方法】 期末試験及びレポート 9割以上出席すること	【履修上の留意点】 11から14は8月末に集中となります。日程については掲示板にて連絡いたします。		